
文京区議会の あらかまし

(平成29年1月)



(文京区議会議場)



(第1委員会室)



(第2委員会室)

文京区議会

文 京 区

1 「文京」の由来

文京区は、昭和 22 年 3 月 15 日、東京都の区部が 22 区（後に 23 区）に改編されたときに、旧小石川区と旧本郷区の二つの区が合併して誕生しました。

2 区名の由来

旧小石川区役所で職員から募集した中に「文京」という名称があり、また、旧本郷区役所では両区統合のための交渉委員会で、委員から「文京」の名が出されました。

これらを両区の統合交渉委員会に諮ったところ、両区の特徴を端的に表していて、文字も書きやすく、「文教の府」というイメージにぴったりだ、ということになりました。これが、両区の区議会で正式に決定され、「文京」区が誕生しました。

3 区の紋章

区民の愛区精神を育て、文化活動を活発にするため、区の紋章と区歌を一般から募集し、昭和 26 年 3 月 1 日に制定しました。

この紋章は、文京区の「文」の字を図案化したものです。



4 文京区の木・花

区民と区との緑化活動のシンボルとして、区の木を「いちょう」、区の花を「つつじ」と決めました。

これは、昭和 49 年 9 月から 12 月にかけて公募したものから、文京区にふさわしく、植栽にも適していることなどを基準として、選定委員会を開いて決めたものです。

5 都市宣言

(1) 文京区平和宣言

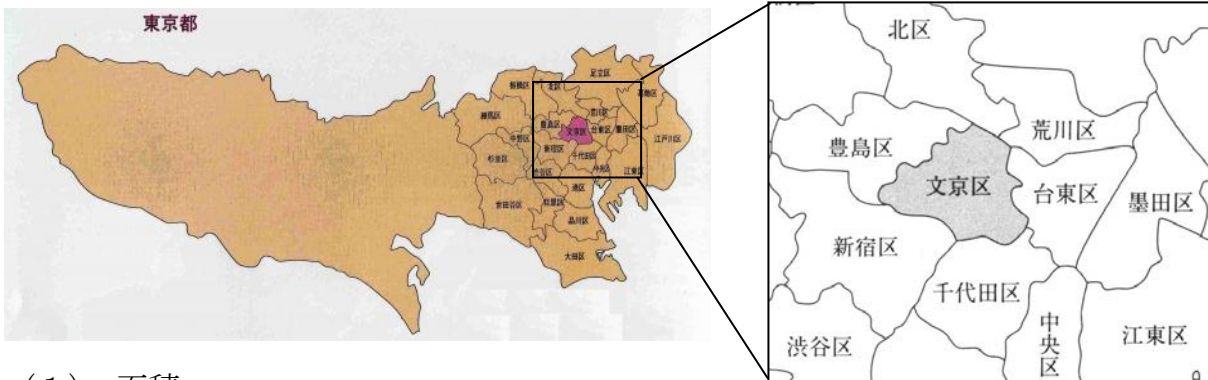
昭和 54 年第 4 回区議会定例会において、「文京区民平和の塔建設に関する請願」が採択され、その趣旨を踏まえ、文京区は世界の恒久平和と永遠の繁栄を願い、昭和 54 年 12 月 7 日に「文京区平和宣言」を行いました。

(2) 文京区非核平和都市宣言

昭和 58 年第 1 回区議会定例会において、「非核都市文京区宣言に関する請願」が採択され、その趣旨を踏まえ、世界の恒久平和を願う文京区は、昭和 58 年 7 月 13 日に「文京区非核平和都市宣言」を行いました。

6 文京区の位置

文京区は、東京都の区部（23区）の中心地に近く、都心3区（千代田区、中央区、港区）のやや北西部に位置しています。皇居を中心とすれば、その北の方角に当たり、俗にいわゆる「山の手」の一角にあって、六つの区と接しています。



(1) 面積

11.29 km²

大きいほうからみて、23区中20番目
都区部の50分の1

(2) 周囲

約21 km

(3) 東西南北

東端＝湯島三丁目、西端＝目白台二丁目、その距離は、約6.098 km

北端＝本駒込六丁目、南端＝湯島一丁目、その距離は、約4.068 km

(4) 区役所の位置（測定点：春日町交差点）

東経 139度45分08秒

北緯 35度42分29秒

7 文京区の地形

武蔵野台地の東縁部に当たり、勾配の急な坂と崖と、江戸川（神田川）や現在は共に暗渠（あんきょ）である千川、藍染川などにつくられた低地の部分、また、関口台、小日向台、小石川台、白山台、本郷台の五つの台地に分かれ、台地と坂、台地に囲まれた幾つかの谷から成り立っています。

8 人口（平成29年1月1日現在）

213,969人【男 101,755人 女 112,214人】※対前年比 3,657人増
（うち外国人住民数 9,174人）

※年代別人口及び年齢3区分別人口の推移については、20ページを参照

9 世帯数（平成 29 年 1 月 1 日現在）

116,661 世帯

10 産業別人口

区 分	平成 17 年国勢調査		平成 22 年国勢調査	
	人 員	割 合	人 員	割 合
第 1 次産業	60 人	0.03%	99 人	0.05%
第 2 次産業	33,805 人	17.44%	29,014 人	15.26%
第 3 次産業	155,526 人	80.22%	※145,328 人	76.43%
分類不能	4,483 人	2.31%	15,697 人	8.26%
合 計	193,874 人	100.00%	190,138 人	100.00%

※第 3 次産業の主な内訳

卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業	36,691 人
生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療・福祉等	66,667 人
情報通信業、運輸業・郵便業	26,426 人
電気・ガス・熱供給・水道業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、公務	15,544 人

11 職員

(1) 特別職

役 職	氏 名	任 期	初 就 任 年 月 日
区 長	成 澤 廣 修	自 平成 27 年 4 月 27 日 至 平成 31 年 4 月 26 日	平成 19 年 4 月 23 日
副 区 長	瀧 康 弘	自 平成 27 年 6 月 13 日 至 平成 31 年 6 月 12 日	平成 23 年 6 月 13 日
教 育 長	南 新 平	自 平成 27 年 7 月 8 日 至 平成 30 年 7 月 7 日	平成 27 年 7 月 8 日

(2) 職員数（平成 28 年 4 月 1 日現在）

区 分	条例定数	現員数
区 長 部 局	1,443 人	1,388 人(33)
議 会 事 務 局	10 人	10 人
教 育 委 員 会	341 人	302 人(5)
選 挙 管 理 委 員 会	7 人	7 人
監 査 事 務 局	6 人	5 人
公 益 的 法 人 等 へ の 派 遣	(条例定数外)	12 人(2)
総 数	1,807 人	1,724 人(40)

※職員の区内居住率 17.0%

() 内は再任用フルタイム内数

(3) 特別職給与

役 職	金 額	適 用 年 月 日
区 長	1,252,400 円	平成 28 年 1 月 1 日
副 区 長	1,013,500 円	平成 28 年 1 月 1 日
教 育 長	926,200 円	平成 28 年 1 月 1 日

(4) 職員給与（平成 28 年 4 月 1 日現在）

平均給料月額（一般行政職） 307,900 円

平均年齢（一般行政職） 41.0 歳

1 2 文京区基本構想

(1) 基本構想を議決

平成 21 年 2 月から文京区基本構想策定協議会において検討が重ねられ、平成 22 年 5 月 20 日の第 12 回基本構想策定協議会において、「文京区基本構想」最終案を策定しました。基本構想策定協議会の会長でもある区長は、この最終案を基に、「文京区基本構想」を議案として、区議会に提出しました。

区議会では、2 日間にわたり全議員による特別委員会で検討し、6 月 21 日に議決されました。

(2) 文京区基本構想とは

「基本構想」とは、文京区における総合的かつ計画的な行政運営方針であり、行政計画の最上位に位置付けられるものです。施策の優先順位や有機的な連関性を担保するため、基本構想のもとに各分野で行政計画を策定し、施策を遂行しています。

平成 22 年 6 月に策定した基本構想は、平成 32 年までのおおむね 10 年間を対象に、「文京区のあるべき姿（将来像）」と、その実現に向けた「基本的取組」で構成されており、区が実施する個別具体の事業は、基本構想に掲げる 10 年後の将来都市像「歴史を文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』（ふみのみやこ）」の実現に向けて行われています。

(3) 基本構想進行管理について

基本構想については、平成 23 年度から、「事務事業評価」と「基本構想実現度評価」により、進行を管理しています。

1 3 文京区基本構想実施計画

(1) 基本構想実施計画とは

平成 22 年 6 月に策定した、区政の最も基本的な計画である「文京区基本構想～歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」を実現するために、具体的な

施策・事務事業について定めた計画です。

基本構想推進区民協議会での検討等を踏まえて、平成 26 年度から 28 年度を計画期間とする、第 2 期の「基本構想実施計画」を策定しました。

現在は、新たに平成 29 年度を初年度とする計画の策定を進めています。

(2) 計画の特徴

計画の特徴としては、「分野別計画事業」において、項目ごとに、「将来像」、「将来像の実現に向けた、現状と今後 3 か年の方向性」、「今後 3 か年の進行を管理する主な指標」、「将来像の実現に向けた、今後 3 か年の計画事業」という構成としており、基本構想との関係をよりわかりやすくするとともに、適切に進行を管理するため、指標の充実を図りました。

(3) 計画の事業数・経費

〈事業数〉 249 事業

〈計画事業に要する経費の総額〉 405 億 5,000 万円

(4) 計画事業

ア 分野別計画事業

(ア) 子育て・教育【69 事業】

(イ) 福祉・健康【63 事業】

(ウ) コミュニティ・産業・文化【57 事業】

(エ) まちづくり・環境【44 事業】

イ 行財政運営【15 事業】

ウ 基本構想の進行管理【1 事業】

(5) 進行管理について

基本構想の実現度の検証を行うため、当該計画の進行管理を行っています。

1 4 文京区の観光

文京区は、東京 23 区のほぼ中心に位置し、歴史と文化に恵まれた緑豊かな区です。梅、桜、つつじ、あじさい、菊と、四季の花をテーマにした「文京花の五大まつり」を始め、季節の移ろいを感じる寺社の節句など、数多くの行事があります。

また、明治・大正時代には、森鷗外や夏目漱石など多くの文人がこの地に住み、多くの作品を生み出しました。

(1) 区内のまつり

代表的なイベントは、「文京花の五大まつり」です。

2 月の梅まつり（湯島天満宮境内）に始まり、さくらまつり（播磨坂さくら並木）、つつじまつり（根津神社境内）、あじさいまつり（白山神社境内）、11 月の菊まつり（湯

島天満宮境内) までの五つからなるもので、観光協会と商店街、町会など町ぐるみ、地域ぐるみの取組により開催され、商店街の振興にも生かされています。

その他、主なまつりとして、「文京朝顔・ほおずき市」(伝通院及び源覚寺境内ほか)、根津・千駄木下町まつり(根津神社境内ほか)が開催されます。



梅まつり



さくらまつり



つつじまつり



あじさいまつり



菊まつり

(2) 文京ゆかりの文人たち

文京区は、森鷗外や夏目漱石、樋口一葉、石川啄木など数多くの文人たちが暮らしたまちです。東京大学のある本郷を中心に学者や作家が集まり、優れた作品が生まれました。



森 鷗外



夏目漱石



樋口一葉



石川啄木

(3) 文京区の名所

根津神社や護国寺を始め、由緒ある神社・仏閣、歴史を語る建造物が数多く残っています。また、明治時代には東京大学を始めとする多くの学校がつくられ、さらに、森鷗外や夏目漱石など近代文学史上にその名を残す文豪たちが活動の拠点とし、文教のまちの礎を築きました。道沿いに点在するそのような文人たちの旧居跡や文学碑を眺めながら、散策を楽しむことができます。

また、小石川後樂園や六義園など江戸の大名屋敷庭園の面影を色濃く残している文化財庭園もあり、緑と文化財に恵まれています。

また、日本初の全天候対応型多目的スタジアムの東京ドームを始め、遊園地やホテル、スパ(温泉)などを合わせた総合的なレジャー施設「東京ドームシティ」が文京区の観光スポットとして人気を博しています。

15 国内交流

文京区では、他の地域や文京区が持つ魅力を発信するとともに、区民が国内の人々と交流を深める機会を提供することで、互いの魅力を高め合うまちを目指します。

本区ゆかりの文人とのつながりなどから各種協定を結び、友好関係にある自治体と物産展での出店や相互訪問、文化交流等を実施するほか、相互PRを行うことで、個人や団体で行き来できる機会を増やし、区民の交流を深めます。

〈協定一覧〉

自治体名	協定名	締結年月日
茨城県 石岡市	災害時における相互応援に関する協定	平成8年8月8日
新潟県 魚沼市	災害時における相互応援に関する協定	平成16年12月14日
	魚沼市と文京区との相互協力に関する協定	平成25年4月8日
岩手県 盛岡市	「石川啄木ゆかりの地」災害時における相互応援に関する協定	平成23年11月10日
	「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定	平成24年7月5日
島根県 津和野町	津和野町と文京区における相互協力及び災害応援に関する協定	平成24年10月1日
	森鷗外ゆかりの津和野町、北九州市及び文京区における文化振興及び地域の活性化に関する協定	平成24年10月31日
福岡県 北九州市	森鷗外ゆかりの津和野町、北九州市及び文京区における文化振興及び地域の活性化に関する協定	平成24年10月31日
東京都 新宿区	文化と歴史を <small>えにし</small> 縁とする包括連携に関する覚書	平成27年10月21日
熊本県		
熊本県 熊本市		
山梨県 甲州市	甲州市と文京区との相互協力に関する協定	平成27年10月28日

16 姉妹都市交流

国際間の相互理解と親善は、国だけの責務でなく、地方自治体による相互交流も重要な役割を持っています。

区では、昭和55年以来文京区議会が行ってきた姉妹都市調査の結果、ドイツ連邦共和国カイザースラウテルン市と昭和58年9月6日、友好都市提携を結び、さらに、この交流の成果を踏まえ、昭和63年3月28日、同市と姉妹都市提携を結びました。

現在、区ではこの姉妹都市提携に基づき、ホームステイ生徒の交換、訪問団の相互派遣等の交流をしており、平成25年に25周年を迎えました。

また、区は平成27年10月8日、トルコ共和国イスタンブール市ベイオウル区と友好都市提携協定を結びました。今後、文化・スポーツ等さまざまな分野で友好交流を深めていきます。

17 平成28年度当初予算 会計別総括表

(単位：千円)

区 分	28年度	27年度	増(△)減	増減率 (%)
一 般 会 計	82,488,000	81,778,000	710,000	0.9
国民健康保険特別会計	22,227,000	21,952,000	275,000	1.3
介護保険特別会計	14,858,000	15,007,000	△149,000	△1.0
後期高齢者医療特別会計	4,736,000	4,735,000	1,000	0.0
合 計	124,309,000	123,472,000	837,000	0.7
重 複 控 除 額	7,722,429	7,203,796	518,633	7.2
差 引 純 計 額	116,586,571	116,268,204	318,367	0.3

18 平成28年度一般会計予算 対前年度比較

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	28年度		27年度		増(△)減	増減率 (%)
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
1 特別区税	30,560,549	37.1	30,204,692	36.9	2,958,857	5.4
2 利子割交付金	250,000	0.3	350,000	0.4	△100,000	△28.6
3 配当割交付金	600,000	0.7	350,000	0.4	250,000	71.4
4 株式等譲渡所得割交付金	450,000	0.6	300,000	0.4	150,000	50.0
5 自動車取得税交付金	115,000	0.1	70,000	0.1	45,000	64.3
6 地方譲与税	240,000	0.3	240,000	0.3	0	0.0
7 地方消費税交付金	5,500,000	6.7	5,200,000	6.4	300,000	5.8
8 地方特例交付金	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
9 特別区交付金	16,700,000	20.2	15,800,000	19.3	900,000	5.7
10 交通安全対策特別交付金	17,000	0.0	19,000	0.0	△2,000	△10.5
11 分担金及び負担金	1,759,518	2.1	1,546,928	1.9	212,590	13.7
12 使用料及び手数料	1,963,094	2.4	1,811,227	2.2	151,867	8.4
13 国庫支出金	10,081,706	12.2	11,727,973	14.4	△1,646,267	△14.0
14 都支出金	4,506,311	5.5	4,579,503	5.6	△73,192	△1.6
15 財産収入	279,691	0.3	309,771	0.4	△30,080	△9.7
16 繰入金	7,240,101	8.8	7,062,753	8.6	177,348	2.5
17 繰越金	200,000	0.2	200,000	0.2	0	0.0
18 諸収入	1,880,363	2.3	1,862,049	2.3	18,314	1.0
19 寄付金	94,667	0.1	94,104	0.1	563	0.6
歳入合計	82,488,000	100.0	81,778,000	100.0	710,000	0.9

(2) 歳出 目的別内訳

(単位：千円)

区 分	28年度		27年度		増(△)減	増減率 (%)
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
1 議会費	664,586	0.8	710,263	0.9	△45,677	△6.4
2 総務費	11,969,794	14.5	13,209,429	16.2	△1,239,635	△9.4
3 区民費	2,982,015	3.6	3,051,305	3.7	△69,290	△2.3
4 産業経済費	702,160	0.8	691,363	0.8	10,797	1.6
5 民生費	37,343,035	45.3	33,976,718	41.5	3,366,317	9.9
6 衛生費	4,001,934	4.9	3,702,526	4.5	299,408	8.1
7 都市整備費	2,806,057	3.4	6,205,280	7.6	△3,399,223	△54.8
8 土木費	4,290,961	5.2	3,967,091	4.9	323,870	8.2
9 資源環境費	3,457,677	4.2	3,449,488	4.2	8,189	0.2
10 教育費	12,174,425	14.8	10,840,889	13.3	1,333,536	12.3
11 諸支出金	1,995,356	2.4	1,873,648	2.3	121,708	6.5
12 予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
歳出合計	82,488,000	100.0	81,778,000	100.0	710,000	0.9

(3) 歳出 性質別内訳

(単位：千円)

区 分	28年度		27年度		増(△)減	増減率 (%)
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
義務的経費	41,070,603	49.8	38,556,175	47.2	2,514,428	6.5
人件費	20,510,466	24.9	19,583,545	24.0	926,921	4.7
職員給与費	14,459,249	17.6	14,294,725	17.5	164,524	1.2
退職手当	1,577,892	1.9	1,097,543	1.4	480,349	43.8
その他	4,473,325	5.4	4,191,277	5.1	282,048	6.7
扶助費	18,874,012	22.9	17,444,234	21.3	1,429,778	8.2
公債費	1,686,125	2.0	1,528,396	1.9	157,729	10.3
投資的経費	10,258,146	12.4	14,247,132	17.4	△3,988,986	△28.0
物件費	17,839,827	21.6	16,034,832	19.6	1,804,995	11.3
維持補修費	727,625	0.9	698,695	0.9	28,930	4.1
補助費等	4,419,030	5.4	4,536,641	5.5	△117,611	△2.6
積立金	322,742	0.4	369,891	0.5	△47,149	△12.7
貸付金	27,718	0.0	30,958	0.0	△3,240	△10.5
繰出金	7,722,309	9.4	7,203,676	8.8	518,633	7.2
予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
歳出合計	82,488,000	100.0	81,778,000	100.0	710,000	0.9

19 各会計歳入歳出決算

(単位：円)

区 分		27 年 度	26 年 度	増減率 (%)
一 般 会 計				
歳 入 総 額	A	88,635,612,315	82,457,144,362	7.5
歳 出 総 額	B	85,684,967,302	77,731,756,525	10.2
形 式 収 支	C=A-B	2,950,645,013	4,725,387,837	△37.6
翌年度へ繰り越すべき財源	D	24,162,000	113,454,560	△78.7
実 質 収 支	E=C-D	2,926,483,013	4,611,933,277	△36.5
実 質 収 支 比 率		5.3%	9.1%	
単 年 度 収 支	F	△1,685,450,264	1,745,337,656	
基 金 積 立 金	G	2,368,992,988	3,861,397,625	
繰 上 償 還 金	H	0	0	
基 金 取 崩 し 額	I	1,903,727,000	0	
実 質 単 年 度 収 支	J=F+G+H-I	△1,220,184,276	5,606,735,281	
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計				
	歳 入 総 額	23,490,081,109	19,813,880,939	18.6
	歳 出 総 額	22,385,360,506	18,884,860,612	18.5
	歳 入 歳 出 差 引 額	1,104,720,603	929,020,327	18.9
介 護 保 険 特 別 会 計				
	歳 入 総 額	14,677,679,129	14,256,054,459	3.0
	歳 出 総 額	14,339,126,745	13,898,701,902	3.2
	歳 入 歳 出 差 引 額	338,552,384	357,352,557	△5.3
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計				
	歳 入 総 額	4,603,660,812	4,652,179,613	△1.0
	歳 出 総 額	4,519,044,414	4,568,029,996	△1.1
	歳 入 歳 出 差 引 額	84,616,398	84,149,617	0.6

議 会

1 議員数

条例定数 34人

現員数 34人（うち女性議員 14人）

※議員定数及び現員数の推移については、23ページを参照

2 任期 平成27年5月1日～平成31年4月30日

3 正副議長

議長 白石 英行 平成27年5月28日就任

副議長 松丸 昌史 平成27年5月28日就任

4 年齢別議員数 （平成29年1月1日現在）

年齢	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計	平均年齢
人数	2人 (2)	6人 (1)	12人 (4)	12人 (7)	2人 (0)	34人 (14)	55.76歳
比率 (%)	5.9	17.6	35.3	35.3	5.9		

（ ）内は女性議員数で内数

5 当選回数別議員数

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	10回	合計
人数	4人 (2)	6人 (3)	7人 (4)	5人 (1)	6人 (1)	3人 (2)	1人 (1)	1人 (0)	1人 (0)	34人 (14)
比率 (%)	11.8	17.7	20.6	14.7	17.7	8.8	2.9	2.9	2.9	

（ ）内は女性議員数で内数

6 会派別議員数 （平成29年1月1日現在）

会 派 名	人 数	内 訳	
		男 性	女 性
ぶんきょう未来	10人	6人	4人
自由民主党文京区議団	9人	7人	2人
日本共産党文京区議会議員団	7人	3人	4人
公明党文京区議団	5人	3人	2人
市民の広場・文京	3人	1人	2人
合 計	34人 (100.0%)	20人 (58.8%)	14人 (41.2%)

7 委員会の種別及び所管事項

(1) 常任委員会

ア 総務区民委員会（定数 9 人）

企画政策部、総務部、区民部、アカデミー推進部、施設管理部、会計管理室、監査委員及び選挙管理委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

イ 厚生委員会（定数 8 人）

福祉部、保健衛生部及び文京保健所に関する事項

ウ 建設委員会（定数 8 人）

都市計画部、土木部及び資源環境部に関する事項

エ 文教委員会（定数 9 人）

子ども家庭部及び教育委員会に関する事項。ただし、区長の補助機関たる職員に補助執行させる事項を除く。

(2) 議会運営委員会（定数 11 人）

地方自治法第 109 条第 3 項に規定する事項に関する調査を行い、議案等を審査する。

※議会広報小委員会

議会運営委員会の小委員会として、ぶんきょう区議会だより及び区議会日程ポスターの発行、区議会ホームページ及びインターネット議会中継の運営、CATV 議会放映に関する調査研究及び放送枠の調整等を行う。

※意見書等調整小委員会

議会運営委員会の小委員会として、各会派及び無所属議員から提出された意見書及び決議の原案について協議し、文案の調整及び作成を行う。

(3) 特別委員会

ア 自治制度・行財政システム調査特別委員会（定数 11 人）

地方自治の拡充と推進、行財政改革に関する事項

イ 災害対策調査特別委員会（定数 11 人）

災害防止対策及び災害発生時の対応並びに復興計画等に関する事項

ウ 地域振興・まちづくり調査特別委員会（定数 11 人）

地域及び産業等の振興を図り、区の魅力を高めるまちづくりに関する事項

エ 子ども・子育て支援調査特別委員会（定数 11 人）

子ども・子育て支援新制度の推進に伴う区の実施に関する事項

オ 予算審査特別委員会（定数 19 人）

当初予算に関する事項

カ 決算審査特別委員会（定数 19 人）

決算に関する事項

8 本会議場議席一覧

（平成 27 年 5 月 28 日～）

		21 名取 顕一 (自)	22 白石 英行 (自)	23 橋本 直和 (自)	24 岡崎 義顕 (公)	25 松丸 昌史 (公)	26 若井 宣一 (公)	27 前田くにひろ (未)	28 宮崎 文雄 (未)	29 渡辺 雅史 (未)	30 品田 ひでこ (未)	31 田中 和子 (市)	32 国府田久美子 (共)	33 板倉 美千代 (共)	34 島元 雅夫 (共)		
			10 森 守 (自)	11 田中としかね (自)	12 海老澤 敬子 (自)	13 渡辺 智子 (公)	14 松下 純子 (未)	15 上田 ゆきこ (未)	16 高山 泰三 (未)	17 山本 一仁 (未)	18 浅田 保雄 (市)	19 萬立 幹夫 (共)	20 関川 けさ子 (共)				
		1 佐藤こういち (自)	2 山田 ひろこ (自)	3 市村やすとし (自)	4 田中 香澄 (公)	5 西村 修 (未)	6 海津 敦子 (未)	7 藤原 美佐子 (市)	8 福手 裕子 (共)	9 金子てるよし (共)							

(例)

演壇	議席番号	(未) ふんきょう未来
	氏名	(自) 自由民主党文京区議団 (共) 日本共産党文京区議会議員団
議長	会派	(公) 公明党文京区議団 (市) 市民の広場・文京

9 議会費予算

(単位：千円)

項	28年度	27年度	比較 増(△)減
議会費	664,586	710,263	△45,677
節		説明	
区分	金額		
1 報酬	356,305		千円
2 給料	44,607	1 議員報酬(議員数34人)	356,305
3 職員手当等	39,357	2 議員共済給付費負担金	100,368
4 共済費	118,670	3 議員旅費	9,284
8 報償費	339	4 参考人等旅費	30
9 旅費	9,794	5 議長交際費	2,300
10 交際費	2,300	6 各種分担金	1,691
11 需用費	6,978	7 政務活動費	57,120
12 役務費	10,450	8 図書室整備	2,041
13 委託料	16,247	9 議会だより等発行	6,594
14 使用料及び賃借料	701	(1) 議会だより(4回)	6,122
19 負担金補助及び交付金	58,838	(2) 声の議会だより(4回)	472
		10 区議会IT化経費	4,463
		11 その他運営費	1,158
		12 職員給与費(職員数10人)	102,266
		13 会議録調製委託等経費	7,613
		14 庶務関係経費	13,353

10 議員報酬

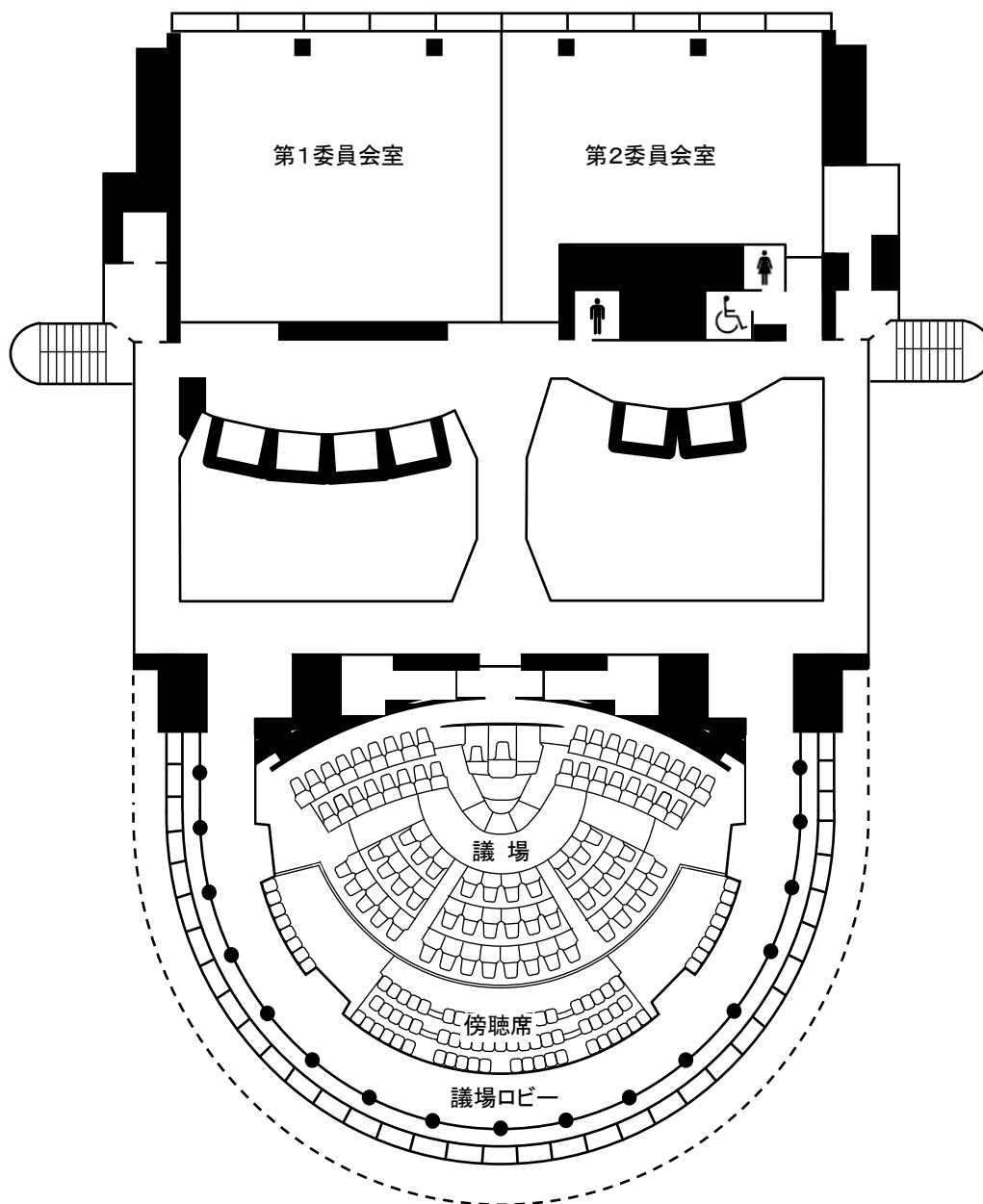
(平成28年1月1日～)

	月額
議長	920,200円
副議長	788,800円
委員長	647,300円
副委員長	620,200円
議員	598,100円

※議員報酬の推移については、22ページを参照

1 1 議会各室

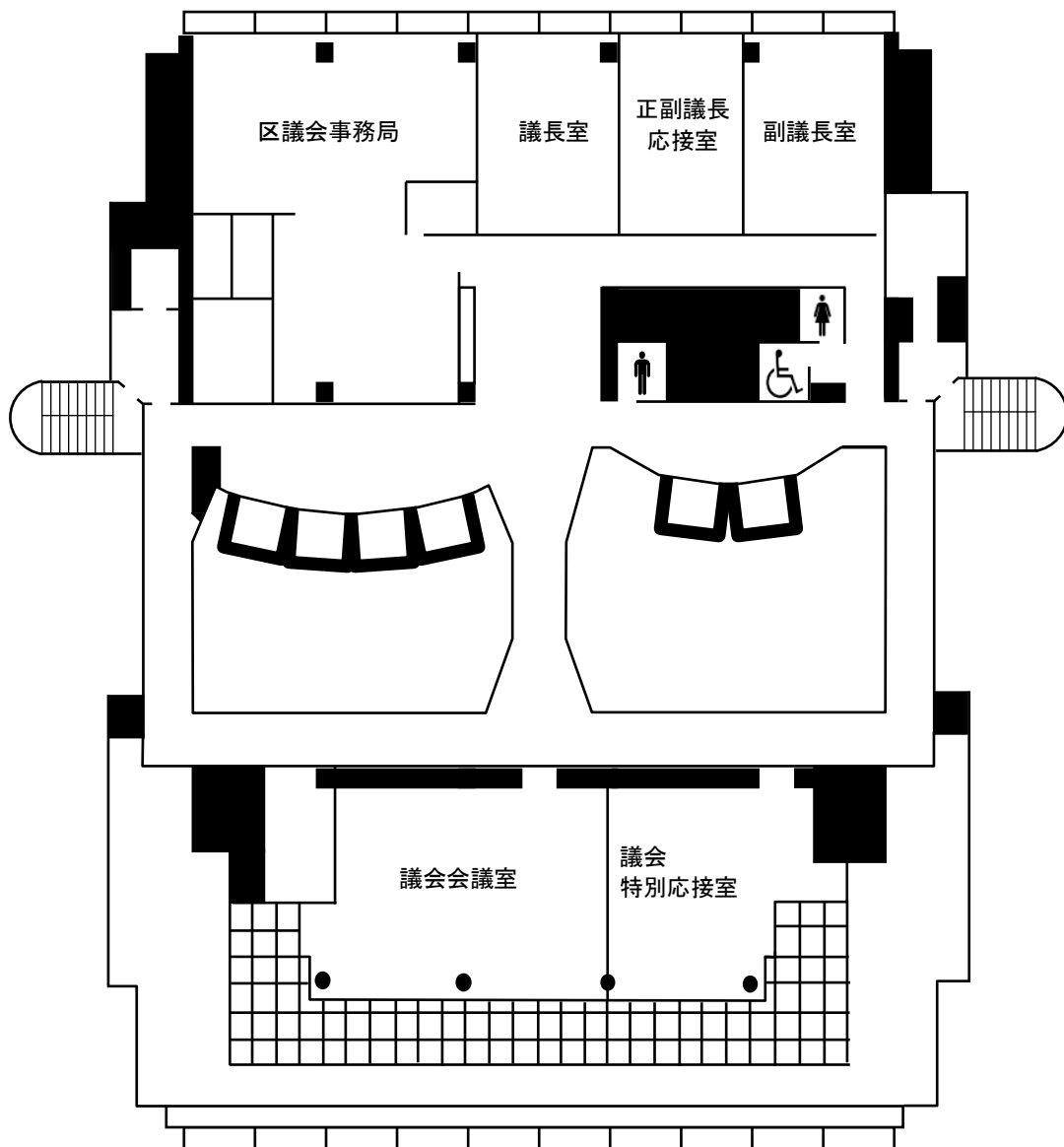
南側（丸ノ内線側）



北側（春日通り側）

【24階】

南側（丸ノ内線側）

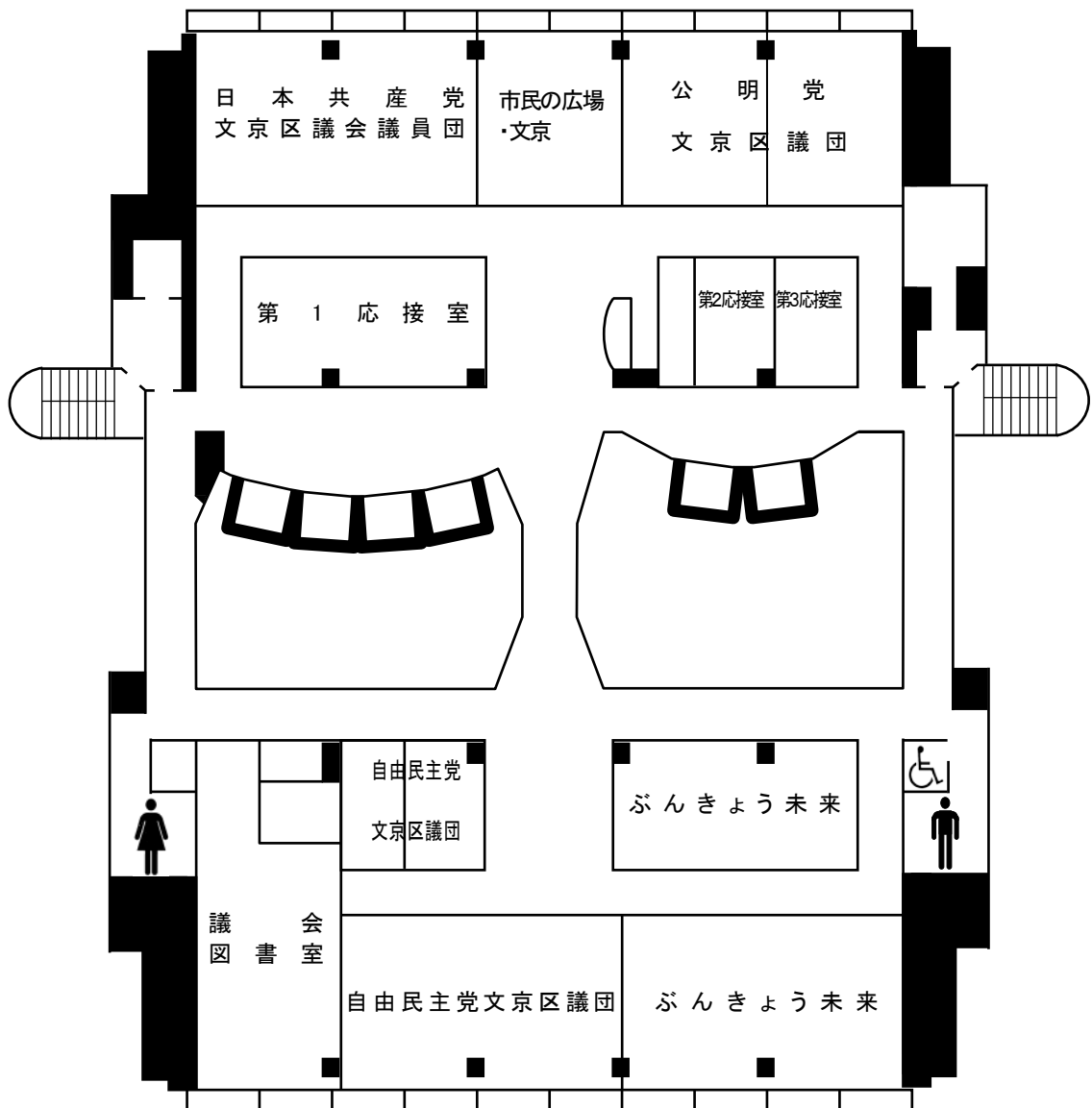


北側（春日通り側）

【23階】

文京区議会議員控室等案内図

南側（丸ノ内線側）



北側（春日通り側）

【22階】

【各種データ】

○年代別人口及び年齢3区分別人口の推移（住民基本台帳）

（単位：人）

年 代 別 人 口								
	28年 (2016)	27年 (2015)	26年 (2014)	25年 (2013)	24年 (2012)	23年 (2011)	18年 (2006)	13年 (2001)
0～9歳	17,773	16,966	16,202	15,551	14,697	14,297	12,448	11,432
	807	764	651	854	400			
10～19歳	14,482	14,352	14,031	13,785	13,328	13,128	13,092	13,949
	130	321	246	457	200			
20～29歳	29,051	28,642	28,629	28,570	26,666	27,506	28,642	29,122
	409	13	59	1,904	△ 840			
30～39歳	36,345	36,737	36,257	36,215	34,602	34,805	32,405	26,760
	△ 392	480	42	1,613	△ 203			
40～49歳	35,858	35,128	34,281	33,214	31,137	30,165	25,051	21,850
	730	847	1,067	2,077	972			
50～59歳	25,639	24,606	23,789	23,074	22,018	21,650	24,359	24,979
	1,033	817	715	1,056	368			
60～69歳	22,305	22,070	22,000	22,420	22,259	22,480	19,528	19,543
	235	70	△ 420	161	△ 221			
70～79歳	16,343	16,831	17,080	16,741	16,572	16,265	15,937	14,549
	△ 488	△ 249	339	169	307			
80～89歳	10,887	10,599	10,301	10,138	9,742	9,594	8,162	6,930
	288	298	163	396	148			
90～99歳	2,665	2,506	2,399	2,333	2,282	2,161	1,727	1,303
	159	107	66	51	121			
100歳以上	103	105	92	82	72	87	56	37
	△ 2	13	10	10	△ 15			
総 数	211,451	208,542	205,061	202,123	193,375	192,138	181,407	170,454
	2,909	3,481	2,938	8,748	1,237			
年 齢 3 区 分 別 人 口								
年少人口 (0～14歳)	24,948	24,096	23,210	22,433	21,416	20,901	18,621	17,701
	852	886	777	1,017	515			
生産年齢人口 (15～64歳)	144,257	142,790	141,030	139,855	133,741	133,602	127,651	120,297
	1,467	1,760	1,175	6,114	139			
老年人口 (65歳以上)	42,246	41,656	40,821	39,835	38,218	37,635	35,135	32,456
	590	835	986	1,617	583			

※ 各年4月1日現在の計数

上段：実数
下段：対前年比

○普通会計決算の状況

(単位：千円、%)

区 分	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
歳入総額 A	88,330,181	82,137,666	78,746,180	76,372,198	75,014,297
歳出総額 B	85,379,536	77,412,279	75,879,584	72,619,845	71,427,930
歳入歳出差引額 C (A) - (B)	2,950,645	4,725,387	2,866,596	3,752,353	3,586,367
翌年度に繰り 越すべき財源 D	24,162	113,455	0	66,027	282,304
実質収支 E (C) - (D)	2,926,483	4,611,932	2,866,596	3,686,326	3,304,063
単年度収支 F	△1,685,449	1,745,336	△819,730	382,263	37,873
積立金 G	2,368,993	3,861,398	1,909,107	1,744,024	1,734,853
繰上償還金 H	0	0	0	0	0
積立金取崩し額 I	1,903,727	0	2,303,390	2,802,133	2,895,922
実質単年度収支 J (F)+(G)+(H)-(I)	△1,220,183	5,606,734	△1,214,013	△ 675,846	△1,123,196
基準財政需要額	48,695,455	45,350,700	42,882,012	41,478,191	41,919,995
基準財政収入額	31,368,536	28,869,952	27,325,440	27,129,574	27,307,857
標準財政規模	54,919,685	50,937,128	48,281,790	47,705,071	49,257,023
臨時財政対策債 発行可能額	—	—	—	1,193,345	2,376,313
財政力指数	0.64	0.64	0.65	0.64	0.63
実質収支比率	5.3	9.1	5.9	7.7	6.7
経常収支比率	76.8	80.4	83.2	85.7	86.1
地方債現在高	6,790,057	8,153,243	9,107,359	10,485,010	11,557,331
債務負担行為額	884,962	3,251,457	5,597,392	5,448,236	6,297,181

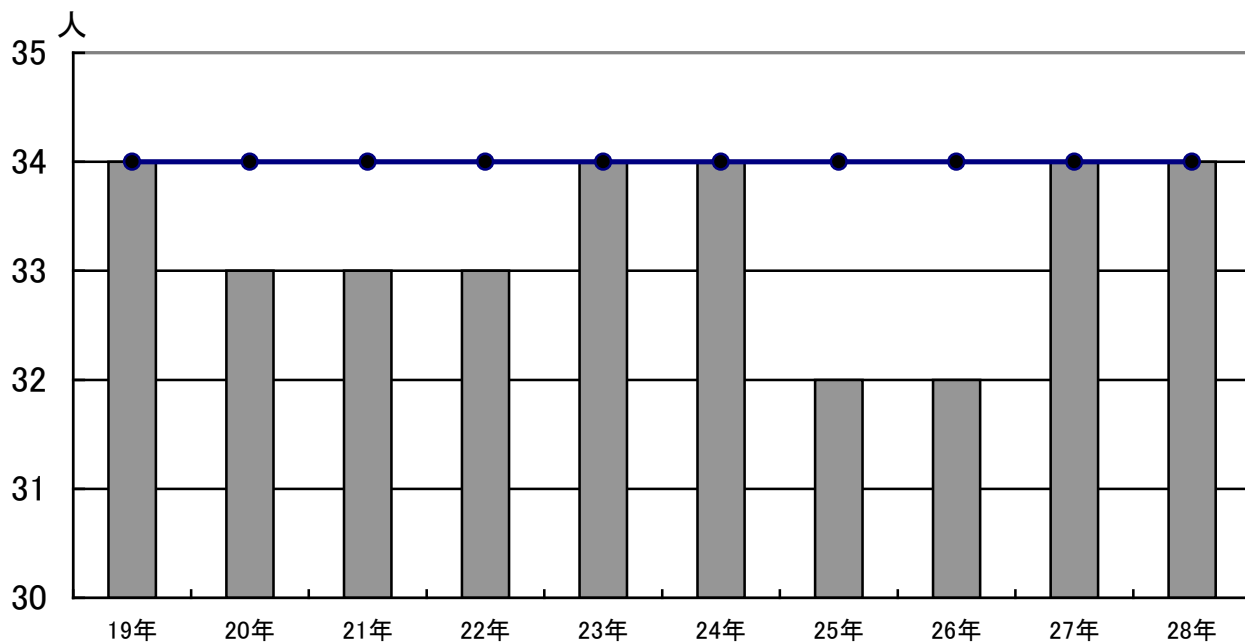
(注1) 「実質収支比率」の分母は、臨時財政対策債発行可能額を含む。

(注2) 「経常収支比率」の分母は、各年度とも経常一般財源等歳入合計、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計である。

(注3) 平成25年度から、臨時財政対策債発行可能額の算出方法の見直しにより、特別区においては、発行可能額が皆減となっている。

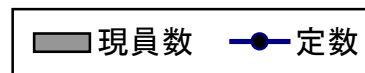
決算に基づく健全化判断比率					
実質赤字比率	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
実質公債費比率	△3.8	△3.1	△2.4	△1.6	△0.5
将来負担比率	—	—	—	—	—

○議員定数及び現員数の推移



※注1 各年12月31日現在の計数(27年は6月1日現在)

※注2 定数は、地方自治法第91条第1項の規定により、条例で定める定数



○議員報酬の推移

(単位：円)

改定年月日	議長	副議長	委員長	副委員長	議員
3年10月1日改定	876,000	750,000	617,000	591,000	570,000
4年10月1日改定	902,000	772,000	635,000	608,000	587,000
8年4月1日改定	930,000	796,000	655,000	627,000	605,000
13年4月1日特例	883,500	756,200	635,350	608,190	586,850
15年1月1日改定	927,000	794,000	653,000	625,000	603,000
15年1月1日特例	880,650	754,300	633,410	606,250	584,910
16年1月1日改定	918,000	786,000	646,000	619,000	597,000
25年1月1日改定	916,000	785,000	645,000	618,000	596,000
26年1月1日改定	915,000	784,000	644,000	617,000	595,000
27年1月1日改定	917,000	786,000	645,000	618,000	596,000
28年1月1日改定	920,200	788,800	647,300	620,200	598,100